

K N O
 小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

新明小あるは御茶山町となり町内 <small>まち</small> が神明町なるわからぬ長く	4月4日	O
白鷹町にコブシの並木あるといふ花卉の数の合併なりき	4月11日	N
わが町の名は高野台 江戸時代に谷原 <small>やはら</small> 在家と呼ばれしところ	4月14日	K
名としては6・4号橋とある跨線橋名というよりは識別子なれ	4月17日	O
三十年ともに「展景」作りきし池田桂一伊達市に逝きぬ	4月22日	N
おだやかなお声が和室にしつくりと心に残るかの日の池田さん	4月22日	K
池田さんの若き日しりぬ教室に隣り合いつつそれも少しずつ	4月27日	O
野のみどり山のみどりの変はりゆくさまを映して五月はすすむ	5月12日	N
わが庭に若葉茂りて初夏のよそほひ自肅の日日をなごます	5月15日	K
睡蓮に白がくわわって五領沼去年の夏にちかづくごとし	5月20日	O
手裏剣のやうな形のヤマボウシ真白に咲きて五月尽なり	5月29日	N
あぢさゐの白き花びら凜として六月の光のなかに在り	6月3日	K
六月の朝は鳥たちもどりみち同じ鳥とはかぎらぬながら	6月5日	O
桜桃 <small>あくらう</small> の季節なれども静かなり他人 <small>ひと</small> の手になる叔母の畑は	6月12日	N
スーパーに「山形さくらんぼ」買ひ求め義兄 <small>あに</small> と姪との父の日デイナー	6月20日	K
ならば歩きを半周がほどその間はワクチン接種のことにみにすぐ	6月23日	O
ワクチンは世界を救ふか打つ者と打たざる者は永遠に混じらず	6月28日	N
ワクチンの接種終れど習慣は自肅のままに安心安全	7月3日	K